

様式第4のホ (第4条、第5条関係)

地下タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要					
タンクの設置方法					
タンクの種類					
タンクの構造・設備	形状	常圧・加圧 (kPa)			
	寸法	容量			
	材質、板厚				
	外面の保護				
	危険物の漏れ検知設備又は漏れ防止構造の概要				
	通気管	種別	数	内径又は作動圧	
				mm kPa	
	安全装置	種別	数	作動圧	
				kPa	
	可燃性蒸気回収設備	有 () ・ 無			
液量表示装置		引火防止装置	有 ・ 無		
タンク室又はタンク室以外の基礎、固定方法の概要					
注入口の位置		注入口付近の接地電極	有 ・ 無		
ポンプ設備の概要					
配管					
電気設備					
消火設備					
工事請負者住所氏名					
電話					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。
 2 「直埋設」とは、二重殻タンクをタンク室以外の場所に設置する方法（地下貯蔵タンクを危険物の漏れを防止することができる構造により地盤面に設置する方法を除く。）をいう。
 3 「鋼製強化プラスチック製二重殻タンク」とは、令第13条第2項第2号イに掲げる材料で造った地下貯蔵タンクに同項第1号ロに掲げる措置を講じたものをいう。

コメント [A1]: 事業の主たる内容を簡単に記入
 例: 輸送用機械器具製造業・自動車部品製造業

コメント [A2]: 該当する項目を○で囲む

コメント [A3]: 該当する項目を○で囲む

コメント [A4]: 各項目を次により記入
 ・形状→横置円筒型（中仕切り）・縦置円筒型等
 ・常圧・加圧→常圧、加圧に○を付け、加圧の場合圧力を記入
 ・寸法→内径、高さ、側板高さ、胴長、鏡出等を記入
 ・容量→○○しと記入
 ・材質、板厚→胴・側・底・屋根それぞれ材質板厚を記入
 ・外面の保護→タンク外面の保護方法を記入
 例: アスファルト塗装
 ・危険物の漏れ検知設備又は漏れ防止構造の概要→危険物の漏れ検知設備・検知方法について概要を記入
 ・通気管→種別は無弁通気管又は大気弁通気管・数はタンクに設ける数・作動圧は作動圧をそれぞれ記入
 ・安全装置→圧力タンクに該当するタンクについて記入（減圧弁・破壊板等の数・作動圧）
 ・可燃性蒸気回収設備は、該当する項目を○で囲む「有」とした場合は、()内にその設備の概要を記入
 ・液量表示装置→フロート式液面指示計等を記入
 ・引火防止装置→有・無に○を記入

コメント [A5]: タンク室又はタンク室以外の基礎、固定方法の概要欄は、基礎の構造、固定方法等概要を記入

コメント [A6]: 位置: タンク西側○mと記入
 接地電極: 有・無に○を記入

コメント [A7]: ポンプ種類、基数を記入
 別でポンプ室を設ける場合はその概要

コメント [A8]: 材質、口径、接続方法、防錆・防食方法を記入

コメント [A9]: 防爆型等種別を記入

コメント [A10]: 消火設備→該当する消火設備を記入

コメント [A11]: 工事を請け負う法人の名称及び住所並びに工事責任者の氏名、電話番号を記入